

文化財の活用についてのアンケート結果

滋賀県が有する豊富な文化財について、県の魅力やブランド価値向上につなげる手法や県民の皆様によりいっそう親しんでいただく方法など、様々な活用法について検討しております。現在の皆様のお考えをお伺いし、今後の検討の参考とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

★調査時期：令和元年7月

★対象者：県政モニター399人

★回答数：348人（回収率87.2%）

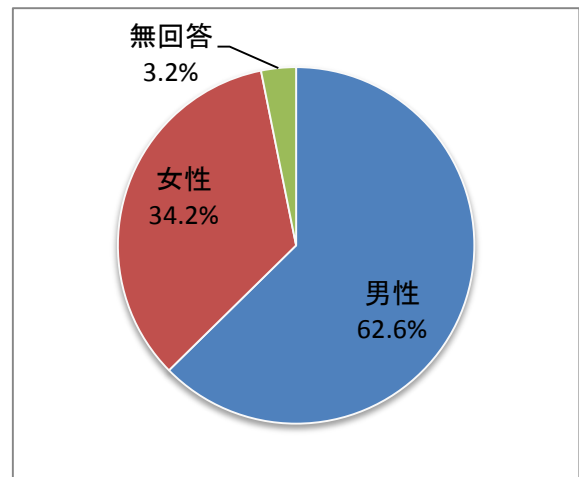
★担当課：文化スポーツ部 文化芸術振興課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

【属性】

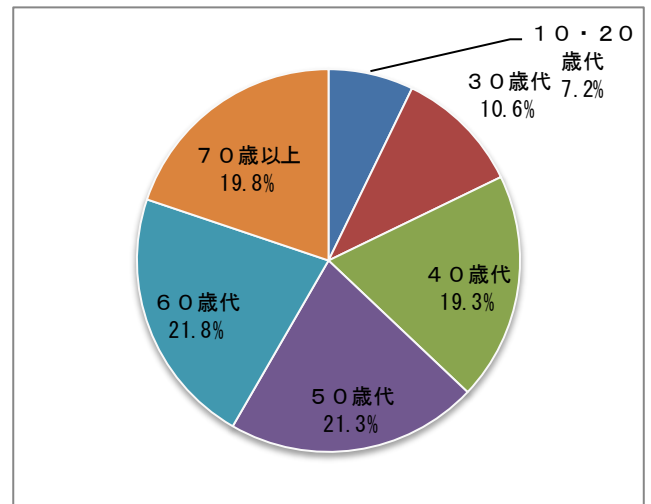
◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	218	62.6%
女性	119	34.2%
無回答	11	3.2%
合計	348	100.0%



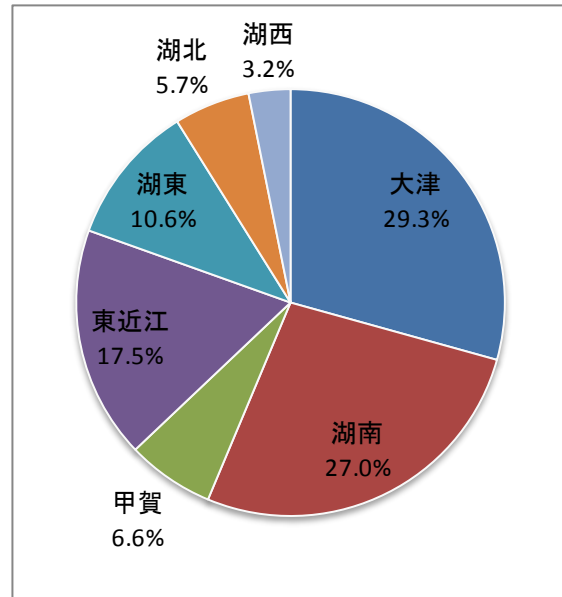
◆年代

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	25	7.2%
30歳代	37	10.6%
40歳代	67	19.3%
50歳代	74	21.3%
60歳代	76	21.8%
70歳以上	69	19.8%
合計	348	100.0%



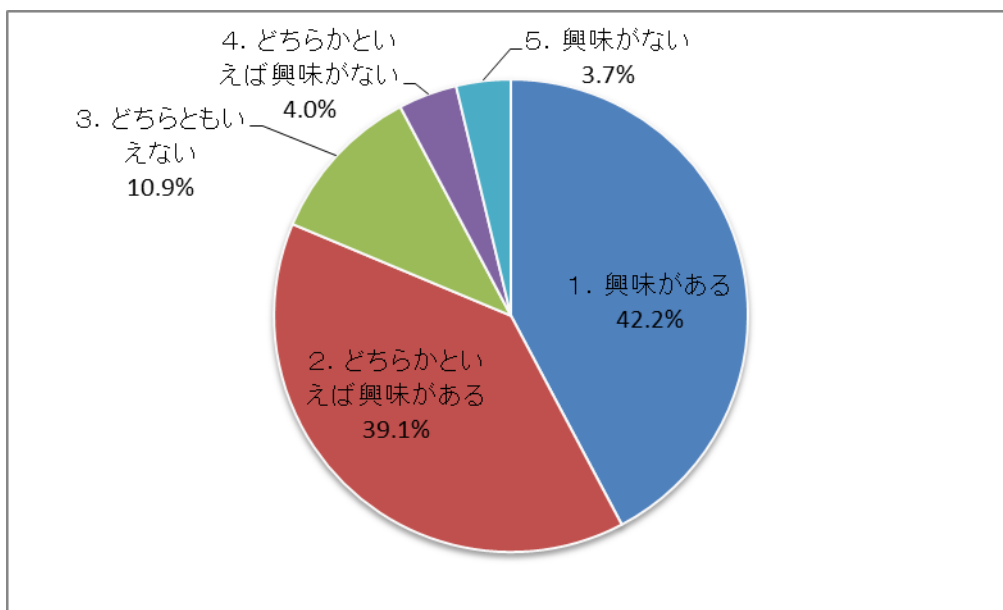
◆地域

項目	人数（人）	割合（％）
大津地域	102	29.3%
湖南地域	94	27.0%
甲賀地域	23	6.6%
東近江地域	61	17.5%
湖東地域	37	10.6%
湖北地域	20	5.7%
湖西地域	11	3.2%
合計	348	100.0%



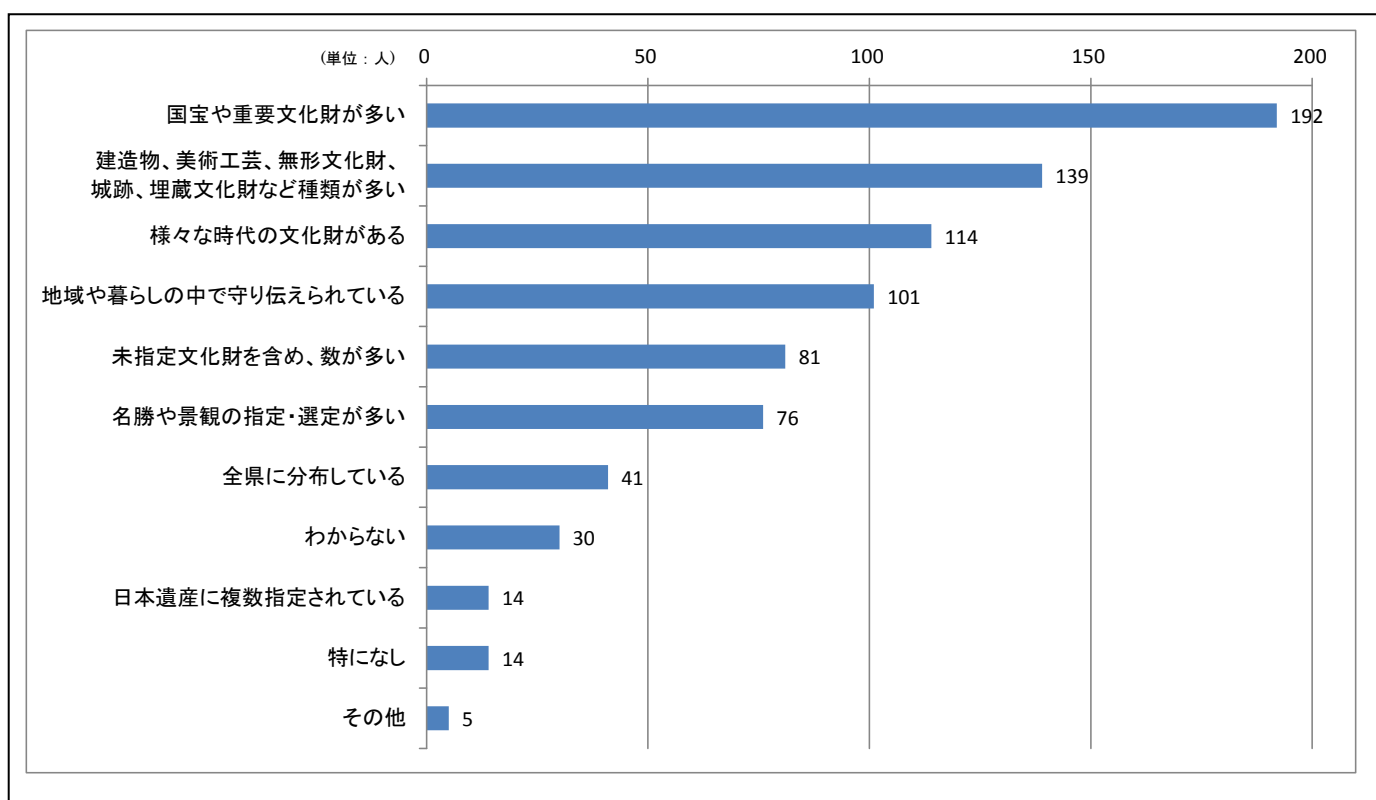
問1 滋賀県は重要文化財指定件数が全国第4位等、全国屈指の文化財保有県ですが、滋賀県の文化財に興味がありますか。（回答チェックは1つだけ）（n=348）

項目	人数（人）	割合（％）
1. 興味がある	147	42.2%
2. どちらかといえば興味がある	136	39.1%
3. どちらともいえない	38	10.9%
4. どちらかといえば興味がない	14	4.0%
5. 興味がない	13	3.7%
合計	348	100.0%



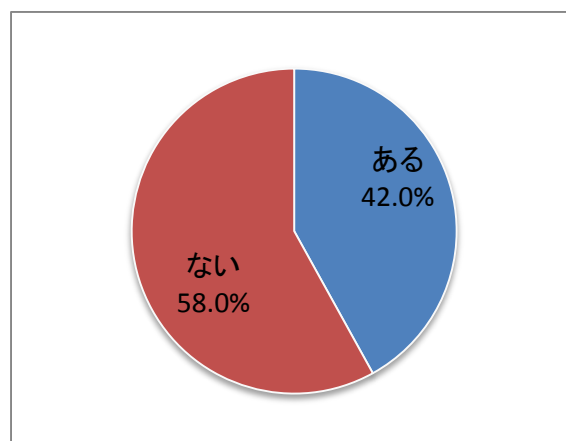
問2 滋賀県の文化財の魅力は何だと思えますか。(回答チェックは3つまで) (n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
国宝や重要文化財が多い	192	55.2%
建造物、美術工芸、無形文化財、城跡、埋蔵文化財など種類が多い	139	39.9%
様々な時代の文化財がある	114	32.8%
地域や暮らしの中で守り伝えられている	101	29.0%
未指定文化財を含め、数が多い	81	23.3%
名勝や景観の指定・選定が多い	76	21.8%
全県に分布している	41	11.8%
わからない	30	8.6%
日本遺産に複数指定されている。	14	4.0%
特になし	14	4.0%
その他	5	1.4%



問3 県外の方に滋賀県の説明や魅力を伝えるときに、文化財を例に挙げたことはありますか。(回答チェックは1つだけ) (n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	146	42.0%
ない	202	58.0%
合計	348	100.0%

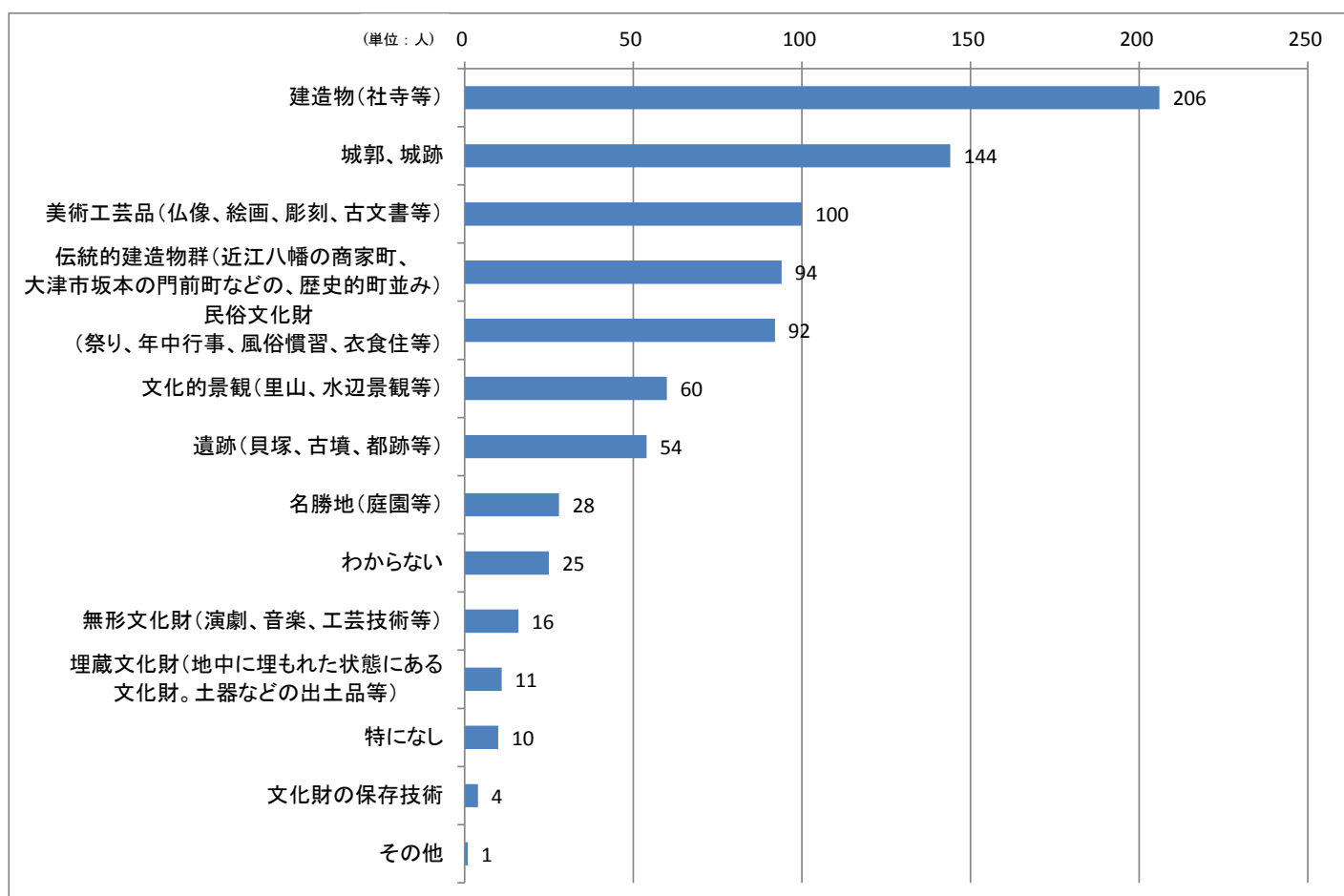


◆「ある」と回答された方の具体的な内容(抜粋)

- ・社寺(比叡山延暦寺(世界遺産)、石山寺、三井寺、日吉大社、浮御堂、白髭神社、近江神宮、多賀大社 等)
- ・彦根城(国宝)
- ・安土城跡
- ・近江八幡(水郷・水辺景観・町並み)
- ・湖北の観音
- ・戦国時代(武将・城郭・山城・城跡)
- ・湖東三山
- ・長浜曳山祭り
- ・文化財が多い(国宝、重文)
- ・多くの神社仏閣、仏像、歴史的建造物
- ・信楽焼き
- ・近江商人
- ・かつて都があった(紫香楽宮、大津京)
- ・竹生島
- ・琵琶湖
- ・瀬田唐橋
- ・様々な時代の文化財
- ・どの町にも歴史や文化遺産が残り、それが地域に溶け込み息づいている。
- ・あまり知られていない文化財が多く、ゆったりと味わえる。(京都との違い)
- ・文化財に身近に接することができる。

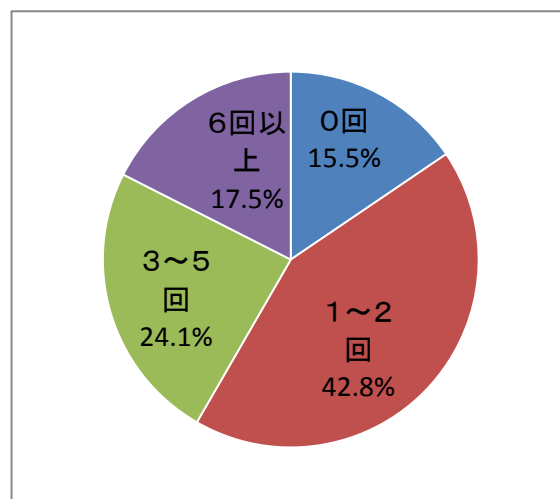
問4 滋賀県の文化財は、どの分野が優れていると思いますか。(回答チェックは3つまで) (n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
建造物(社寺等)	206	59.2%
城郭、城跡	144	41.4%
美術工芸品(仏像、絵画、彫刻、古文書等)	100	28.7%
伝統的建造物群(近江八幡の商家町、大津市坂本の門前町などの、歴史的町並み)	94	27.0%
民俗文化財(祭り、年中行事、風俗慣習、衣食住等)	92	26.4%
文化的景観(里山、水辺景観等)	60	17.2%
遺跡(貝塚、古墳、都跡等)	54	15.5%
名勝地(庭園等)	28	8.0%
わからない	25	7.2%
無形文化財(演劇、音楽、工芸技術等)	16	4.6%
埋蔵文化財(地中に埋もれた状態にある文化財。土器などの出土品等)	11	3.2%
特になし	10	2.9%
文化財の保存技術	4	1.1%
その他	1	0.3%



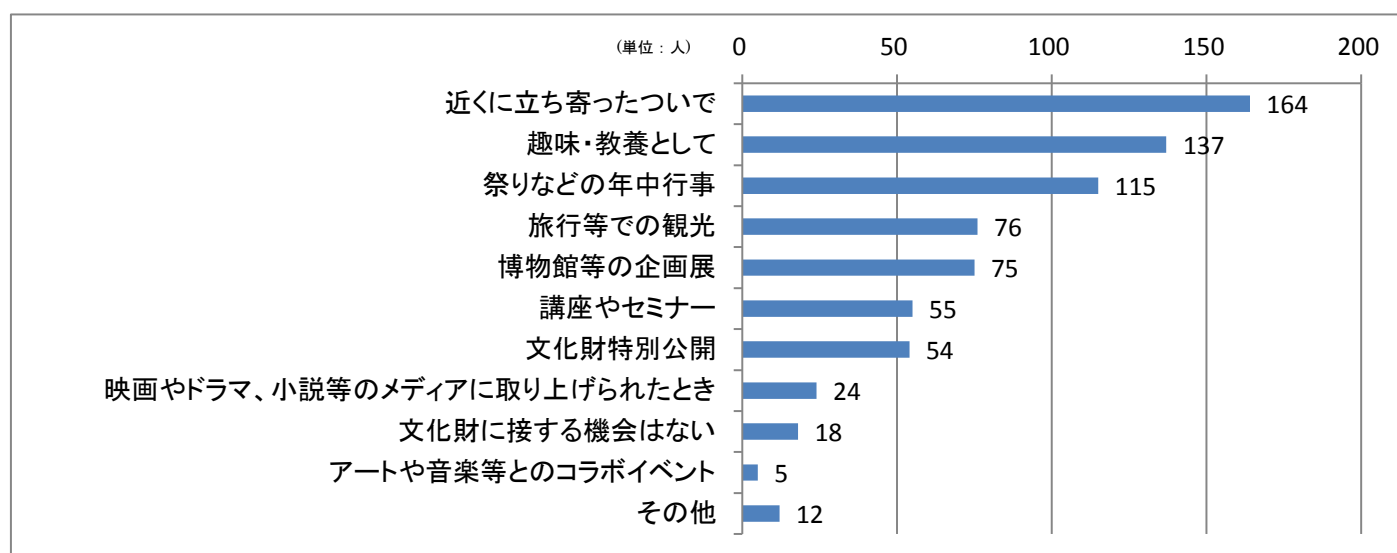
問5 問4の選択肢のような文化財に接する機会が、過去1年間で何回くらいありましたか。(回答チェックは1つだけ) (n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
0回	54	15.5%
1~2回	149	42.8%
3~5回	84	24.1%
6回以上	61	17.5%
合計	348	100.0%



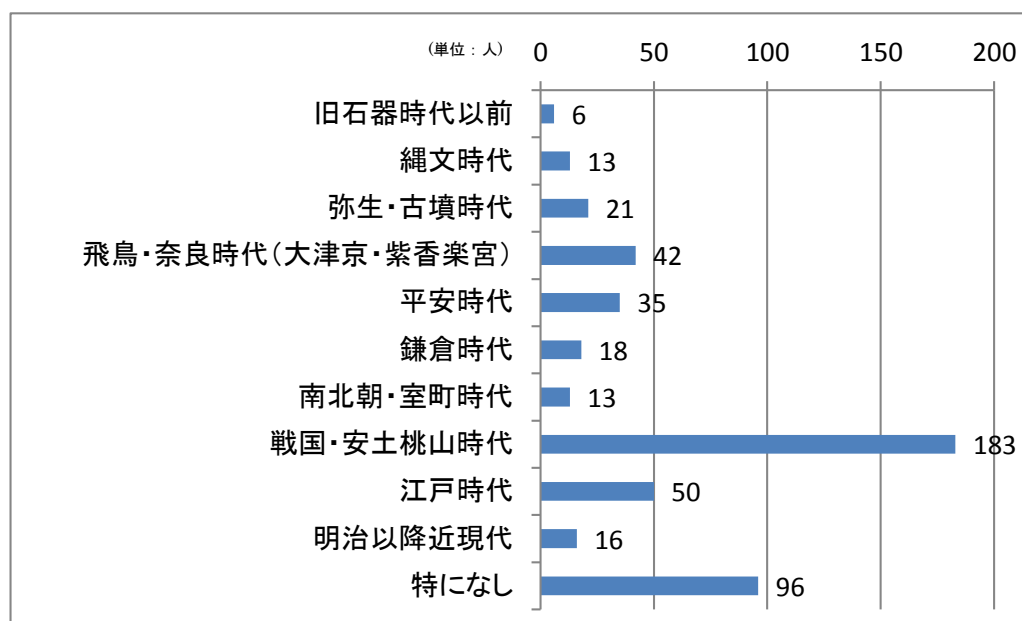
問6 どのような機会に文化財に接しますか。(回答チェックは3つまで) (n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
近くに立ち寄ったついで	164	47.1%
趣味・教養として	137	39.4%
祭りなどの年中行事	115	33.0%
旅行等での観光	76	21.8%
博物館等の企画展	75	21.6%
講座やセミナー	55	15.8%
文化財特別公開	54	15.5%
映画やドラマ、小説等のメディアに取り上げられたとき	24	6.9%
文化財に接する機会はない	18	5.2%
アートや音楽等とのコラボイベント	5	1.4%
その他	12	3.4%



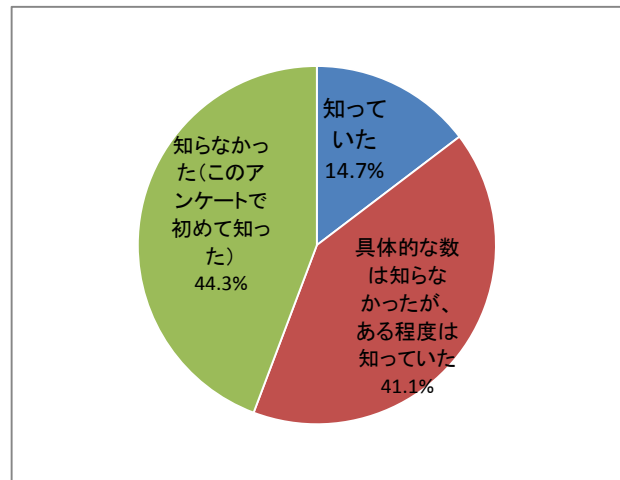
問7 滋賀県の歴史で、どの時代に魅力を感じますか。(回答チェックは2つまで)
(n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
旧石器時代以前	6	1.7%
縄文時代	13	3.7%
弥生・古墳時代	21	6.0%
飛鳥・奈良時代(大津京・紫香楽宮)	42	12.1%
平安時代	35	10.1%
鎌倉時代	18	5.2%
南北朝・室町時代	13	3.7%
戦国・安土桃山時代	183	52.6%
江戸時代	50	14.4%
明治以降近現代	16	4.6%
特になし	96	27.6%



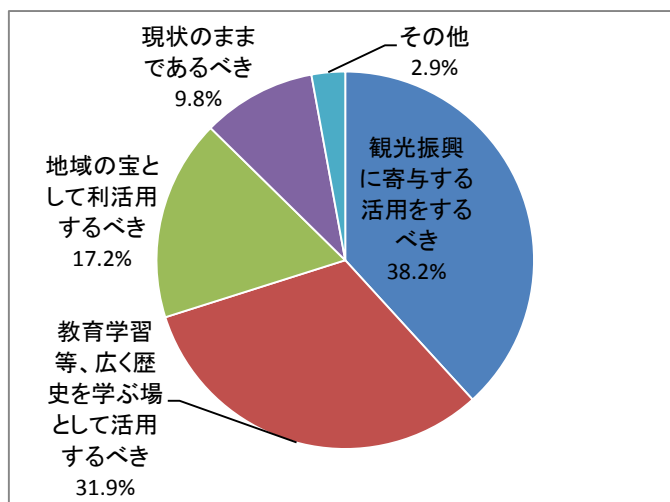
問8 滋賀県のお城について伺います。本県には大小様々な城跡が1,300か所以上あり、全国第4位であることを御存知でしたか。(回答チェックは1つだけ) (n=348)

項目	人数 (人)	割合 (%)
知っていた	51	14.7%
具体的な数は知らなかったが、ある程度は知っていた	143	41.1%
知らなかった(このアンケートで初めて知った)	154	44.3%
合計	348	100.0%



問9 城跡を今後どのように活用すべきだと思いますか。(回答チェックは1つだけ) (n=348)

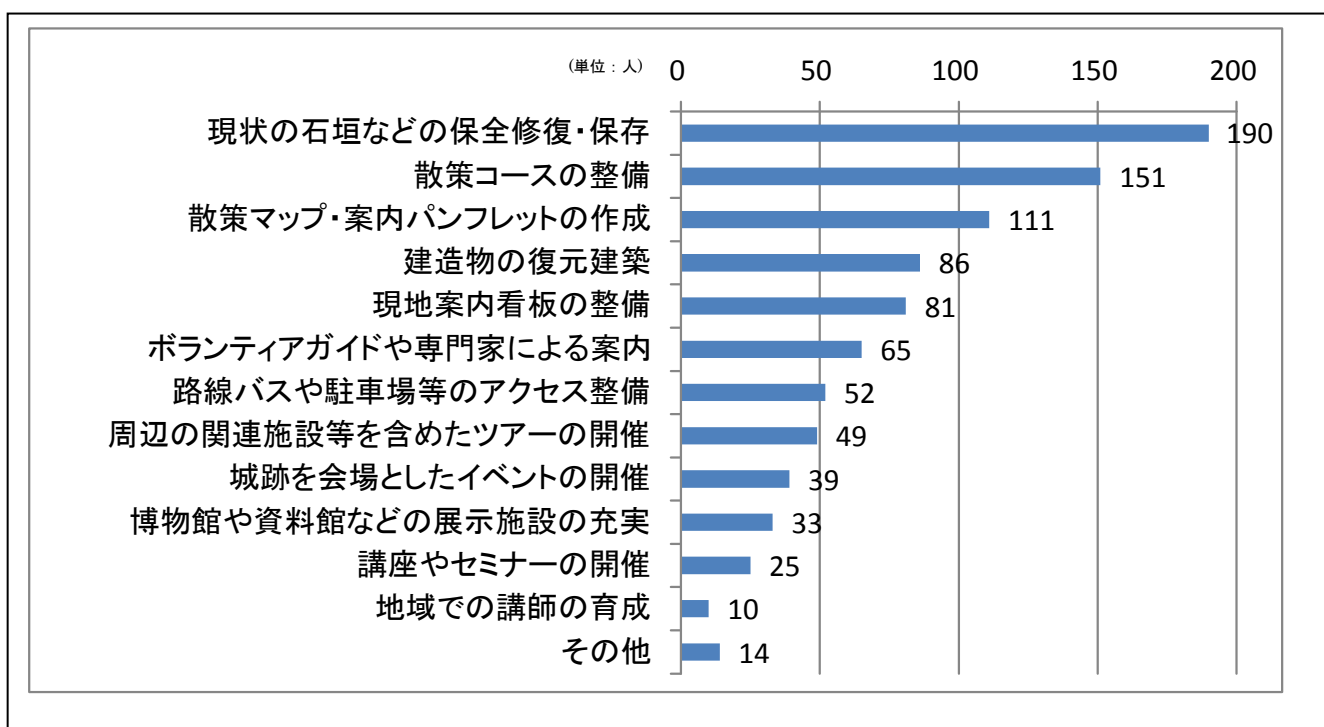
項目	人数(人)	割合(%)
観光振興に寄与する活用をするべき	133	38.2%
教育学習等、広く歴史を学ぶ場として活用するべき	111	31.9%
地域の宝として利活用するべき	60	17.2%
現状のままであるべき	34	9.8%
その他	10	2.9%
合計	348	100.0%



問10 城跡を活用するために、こういったことを優先に進めたらいいと思いますか。

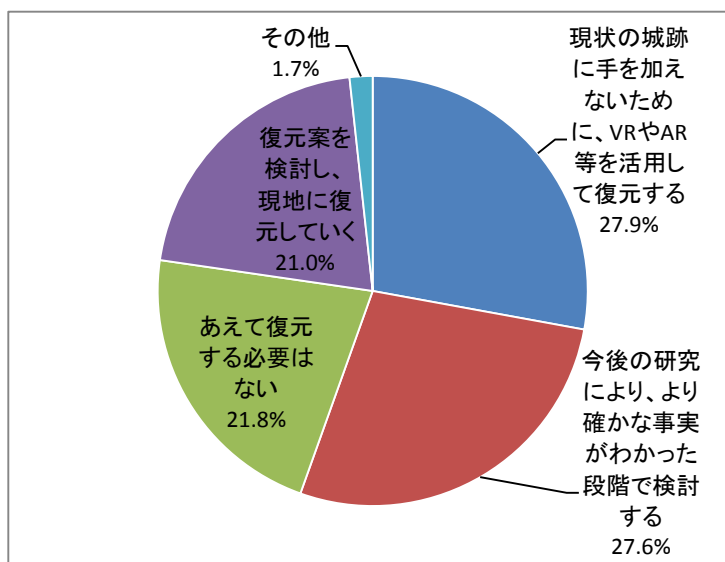
(回答チェックは3つまで) (n=348)

項目	人数(人)	割合(%)
現状の石垣などの保全修復・保存	190	54.6%
散策コースの整備	151	43.4%
散策マップ・案内パンフレットの作成	111	31.9%
建造物の復元建築	86	24.7%
現地案内看板の整備	81	23.3%
ボランティアガイドや専門家による案内	65	18.7%
路線バスや駐車場等のアクセス整備	52	14.9%
周辺の関連施設等を含めたツアーの開催	49	14.1%
城跡を会場としたイベントの開催	39	11.2%
博物館や資料館などの展示施設の充実	33	9.5%
講座やセミナーの開催	25	7.2%
地域での講師の育成	10	2.9%
その他	14	4.0%



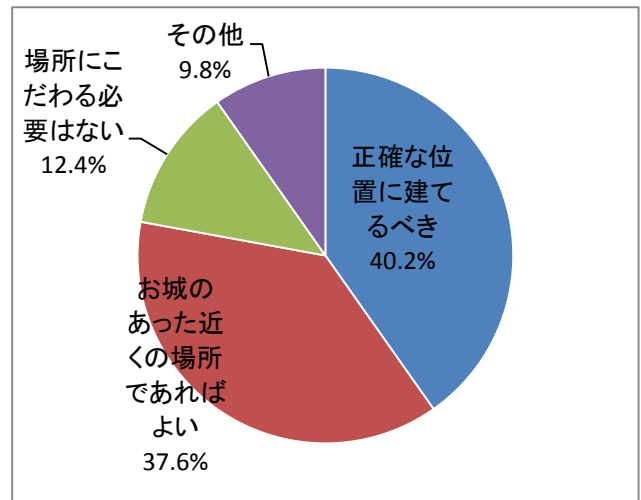
問11 現在の城跡のほとんどは、建造物が存在せず城全体の構造も完全に分かっていませんが、実像の分からないお城を復元しようとする場合、どのように扱うべきだと思いますか。(回答チェックは1つだけ) (n=348)

項目	人数 (人)	割合 (%)
現状の城跡に手を加えないために、VRやAR等を活用して復元する(※VRやARとは、画面やゴーグル型の装置等をとおして、現実にあるように疑似体験ができる技術のことです)	97	27.9%
今後の研究により、より確かな事実がわかった段階で検討する	96	27.6%
あえて復元する必要はない	76	21.8%
復元案を検討し、現地に復元していく	73	21.0%
その他	6	1.7%
合計	348	100.0%



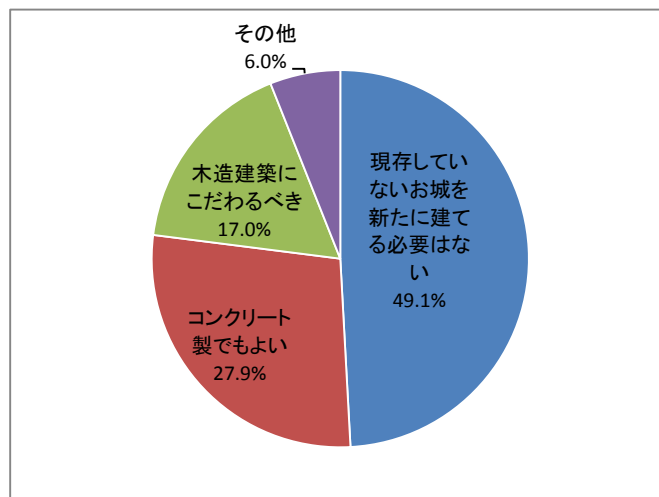
問 1 2 お城を別の場所に復元することに対してどう思いますか。(天守や本丸の正確な位置が分かっていない城跡も多くあります。なお、長浜城天守は、実際とは異なる場所に建てられています) (回答チェックは1つだけ) (n=348)

項 目	人 数 (人)	割 合 (%)
正確な位置に建てるべき	140	40.2%
お城のあった近くの場所であればよい	131	37.6%
場所にこだわる必要はない	43	12.4%
その他	34	9.8%
合計	348	100.0%



問 1 3 現行の消防法や建築基準法では、新たに木造高層建築でお城を築城することはできません。木造建築以外の方法でお城を築城することについてどう思いますか。(回答チェックは1つだけ) (n=348)

項 目	人数 (人)	割合 (%)
現存していないお城を新たに建てる必要はない	171	49.1%
コンクリート製でもよい	97	27.9%
木造建築にこだわるべき	59	17.0%
その他	21	6.0%
合計	348	100.0%



問14 滋賀県では、観光キャンペーン「戦国ワンダーランド 滋賀・びわ湖」を今秋から開催します。滋賀県のお城や戦国時代を対象として、みんなで盛り上げていくアイデアがありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・ 滋賀の文化財をめぐるスタンプラリー【スタンプラリーの御意見は多数有り】
- ・ 安土城の復元
- ・ 戦国時代を体験できるもの（食、装束など）
- ・ 殿様、お姫様、甲冑その他の戦国衣装を着て仮装行列や結婚式をする。
- ・ 実物でなくても、VR・AR等のバーチャル体験でも十分楽しむことができる。
- ・ 子どもからお年寄りまでウォーキングしながら、史跡を巡り、健康を意識したもの
- ・ ガイド付きのバスツアー【交通アクセスの整備】
- ・ ビワイチとの連携
- ・ 滋賀県付近全体を博物館と考えるようにして、各地が展示物のような考え方
- ・ 歴史の拠点づくり。琵琶湖博物館と共に楽しめる「近江歴史ランド」を常設！
- ・ 地元に残る戦国アール（実証されていないが口伝で伝わった出来事）を収集し、クイズ大会をする。
- ・ 戦国時代大好き、落語家さんに戦国落語を作ってもらい、落語会をする。
- ・ 戦国時代大好き人を集めサミットをする。思いっきり自分の戦国時代を語り合う。
- ・ ミス・ミスターを募り、例えば「信長役」「秀吉役」「江姫役」などイメージに基づいて配役を決める。県内のイベントごとに、各キャラクターの出演する日時を告知し集客する。生身の人間（イケメン・美女）が演じることでリア感＝出会えたら嬉しいのと、より歴史上の人物達が身近に感じられるかも。各キャラクターになりきったツイッターアカウントでツイートするのも面白そう。
- ・ SNSでの発信。インスタグラムにたくさん、写真をアップする。
- ・ 人気小説や漫画と関連づけて身近なものと感じ、興味を持てるようにする。
- ・ 子どもも楽しめるもの。学習コンテンツの提供。
- ・ 中高校生がプロジェクトとして多方面から取り上げる。競ったり発表したりする。
- ・ 観光ボランティアガイドが高齢化し、減少している。養成、確保が今後の課題。
- ・ 観光客をもてなす体制
- ・ 静かに、細々とでよい。
- ・ 一過性の観光キャンペーンであればやらない方が良い。継続的な活動として欲しい。
- ・ 低レベルな観光客集めは、地元住民等への観光公害被害のもととなる。

問15 その他、滋賀県の文化財の活用について御意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・重要文化財の宝庫でありながら接する機会が少ない。
- ・専門家だけが理解している文化財も良くないと思うので皆にわかりやすく親しみやすい方がいい。
- ・滋賀に文化財が豊富ということも、このアンケートで初めて知った。まずは、滋賀県の小学校や中学校で、文化財について知る機会を作り、その中から一握りでも発信者が出てくることを期待する。
- ・文化財の大切さを小学生から教えて行く事。県内の個々の文化財について勉強する機会を設ける事。
- ・県民が身近にある文化財に親しめるように紹介していただきたい。文化財は、地域の宝物として、地域の住民に保全等は任せるべきだと思います。
- ・文化財についての知識、理解を深めてから活用をする段階を踏む必要がある。地道な活動が不足している。
- ・まず私たちが知る事が大切だと思う。その上で県外の人達に自慢できるようになると、文化財がもっと身近になると思う。
- ・滋賀県は文化財が多いにも関わらず活かしきれていない。もったいない。
- ・もっと、県民に広く知れ渡ってほしいし、県外にも発信してほしい。
- ・全国的にみても知名度が低い。地味。
- ・他府県に比べて控え目なところがあり、もったいないと思うことがある。
- ・観光振興に繋げて、全国からもたくさんの方が訪れることで、地域活性化はもちろん、雇用が生まれ、県民も誇りがもてる地域の宝を存分に活用、発信してほしい。
- ・近年、神社仏閣で「多種イベント（音楽・演劇・スポーツ）等々」を催されます。国宝級の場所で厳しい規制を厳守する中で、更にこの種の催しを期待する。
- ・若い人にももっと興味を持ってもらいたいと思います。若者が興味を持つようなイベントづくりも大事かと思います。
- ・まだまだ生かし切れていない文化財が多くあると思う。クラウドファンディングなど色々な手段を利用して今以上に活用出来る様に努力して頂きたいと思う。
- ・仏像や、建築物等たくさんいいものがあるので、観光客をもっと呼べたら、修復維持の費用も生み出せるのでは。
- ・先祖の皆さんが命をかけて守った文化遺産を大事に守っていくのは当然の事でもあり、日本第4位の地位に恥じない取り組みが必要だと思います。
- ・滋賀県の財産として守り引き継ぐ使命が滋賀県にあると考える。
- ・あえて派手にせず、事実上忠実に活用してほしいです。滋賀の良さも含めて、しみじみと味わってほしいです。
- ・保存と後世への伝承・伝達があってこそその活用であり、活用が目的化して消費・消耗されてしまっは元も子もない。
- ・現地が荒れる事が無い様な施策が必要だと考える。
- ・活用に反発する地元住民もいることを承知するべき。